

泌尿器科紀要

第26巻 第7号

1980年7月

各種抗生剤の最小発育阻止濃度におよぼす尿 pH および菌量の影響片桐 寿... 779

尿由来大腸菌の感受性分布
—外来患者尿由来株と入院患者尿由来株の比較—和志田裕人・ほか... 791

イヌ尿管移行上皮の微細構造(英文)武藤 浩・ほか... 797

慢性腎不全患者の免疫能に関する研究
第1報:慢性血液透析患者における PPD, PHA 皮内反応および PHA
刺激によるリンパ球幼若化能について森川 洋二... 805

抗がん剤および抗がん剤投与ラット尿の突然変異誘起性に関する
研究(補遺)朴 勺・ほか... 813

腎細胞癌の臨床的研究藤井 昭男・ほか... 819

ウイルス腫瘍9例の臨床的観察村山 和夫・ほか... 827

褐色細胞腫の1例三輪 誠・ほか... 835

両側腎細胞癌の1例早原 信行・ほか... 845

腎軟結石の4例林正 健二・ほか... 855

サンゴ状結石に合併した腎結腸瘻の1例岡 聖次・ほか... 861

長期血液透析中に肺に巨大な石灰沈着をきたした1例川川 進一・ほか... 869

副腎性器症候群における陰核肥大に対する陰核形成術の1例三馬 省二・ほか... 875

膀胱を原発とする転移性陰茎癌の3例と、これに対する術前抗癌剤
動注および照射療法の経験矢崎 恒忠・ほか... 881

陰囊平滑筋肉腫の1例多田 安温・ほか... 889

Schönlein-Henoch syndrome 患者に見られた陰囊血瘤の1例森川 洋二・ほか... 893

DRL-917 キットによる前立腺酸性フォスファターゼ測定法の検討森下 直由・ほか... 899

腎移植における抗リンパ球グロブリン(AHLBULIN)の使用経験進藤 和彦・ほか... 905

Tolmetin Sodium の泌尿器科領域における効果について香川 征・ほか... 913

Influence of Urinary pH and Bacterial Count upon Minimal Inhibitor
Concentration of Various Antibiotic Agents for BacteriaT. Katagiri... 779

Sensitivity Pattern of E. Coli Isolated from Urinary Specimens :Comparison
between the Strain of the Urine from Out-Patients and that from In-Patients
.....H. Washida et al... 791

Fine Structure of the Transitional Epithelium of the Dog UreterH. Muto et al... 797

Studies on the Immune Response in Patients with Chronic Renal Failure
I: PPD, PHA Skin Test and PHA-induced Blastoid Transformation
of Peripheral Lymphocytes in Uremic Patients Maintained on Hemodialysis
.....Y. Morikawa... 805

The Mutagenic Activity of Anti-Cancer Drugs and the Urine of Rats Given
these Drugs —A Supplemental ReportK. Pak et al... 813

Clinical Study of Renal AdenocarcinomaA. Fujii et al... 819

Wilms' Tumor: A Clinical Observation of Nine Cases.....K. Murayama et al... 827

Pheochromocytoma: A Case ReportM. Miwa et al... 835

A Case of Bilateral Renal Cell CarcinomaN. Hayahara et al... 845

Four Cases of Renal Matrix CalculiK. Rinsho et al... 855

A Case of Renocolic Fistula Complicating Staghorn CalculusT. Oka et al... 861

Ectopic Calcification in the Lung in the Patient on Long-Term
Hemodialysis: Report of a CaseS. Hosokawa et al... 869

Clitoroplasty, the Surgical Correction of the Enlarged Clitoris due to
Adrenogenital Syndrome: A Case ReportS. Sanma et al... 875

Preoperative Arterial Infusion of Anticancer Agent and Irradiation for
Metastatic Penile Carcinoma from Urinary BladderT. Yazaki et al... 881

Leiomyosarcoma of the Scrotum: A Case Report.....Y. Tada et al... 889

Hematocele Testis in Schönlein-Henoch Syndrome:
Report of a Case Y. Morikawa et al... 893

Studies on Radioimmunoassay of Prostatic Acid Phosphatase by
DRL-917 KitN. Morishita et al... 899

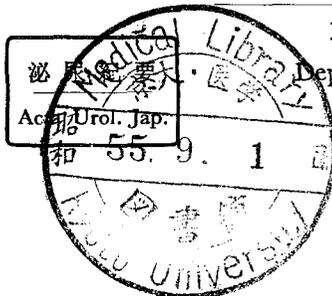
The Use of Antilymphocyte Serum (AHLBULIN) in Renal
Transplantation.....Shindo et al... 905

Tolmetin Sodium in Urological PracticeS. Kagawa et al... 913

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室



編 集 後 記

「医学教育」編集委員会から教科書の選択・指定基準について質問されずぐ想い出したのが Watson の“Molecular Biology of the Gene”である。その素晴らしさに感動したのは一昔以上も前のことである。爾来そうしばしば緘くわけではないが、その存在は常に脳裏にある。1962年34歳で Nobel 賞を受賞した Watson が自然科学系の大学生のために書いた教科書で、1965年に出版されたものである。どのように素晴らしいかといえば、1. きわめて分り易く書いている。2. この領域で大学生に必要な知識はすべて網羅している。3. 専門的すぎることは書いていない。4. 読めば読むほど自然科学への情熱をかきたてる。5. 安い（7ドル95セントだった）。であり教科書が具備すべきものはすべてそなわっている。

泌尿器科学ではと問われた場合、躊躇なく Smith の General Urology をあげていた。ところが第9版（アジア版）では少なからず落胆している。値上げを最小限におさえているのはよいが、紙質が非常に悪く、レ線像や組織の写真が不鮮明で（レ線写真で天地逆が1枚ある）、教科書として魅力に乏しいものになっている。これは Smith 先生の責任ではない。出版社に矜持を保てといたい。（O. Y.）

購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料と 5,000 円（送料とも）前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規（1969年1月改正）

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は 400 字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けません。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, PH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
 - A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。（論文題名は自由です）
文献名は正式略称を用いてください。
例：日泌尿会誌、臨床皮泌、皮と泌、泌尿紀要、臨泌；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
 - B 単行本の場合 著者氏名：書名、版数、Vol. 数、p. 数、発行所、出版地、年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第26巻 第7号 1980年7月25日 印刷 1980年7月31日 発行
 創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤二 定価 500 円(送料別)
 発行 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要編集部
 〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
